

社会福祉施設 1  
ワークセンターくすの木

5日間ワークセンターくすの木に行かせていただき、大阪府立視覚支援学校での体験同様、とても多くのことを学ぶことができた。

ワークセンターくすの木には、さまざまな障がいを持った方達がいて、全盲や体が不自由な方、自閉症を持った方など、さまざまである。

そのような中で私は、1人ひとりと深く関わり、その方がどのような障がいをもっているのか、どのような対応をしたらいいのか、今どのような事を思い、考えているのかを適切に見極めることが非常に重要であることを学んだ。つまり、1人ひとりと深く関わり、1人ひとりのことをよく知ることが大切であり、これは教師になった際にも1人ひとりの子どもと深く関わり、よく知ることが、基本のスキルだと思うので、そのことを学び、再確認させていただき、とても自分の力に結びついた体験であった。

また、この体験では、積極的に自分から動く、自分から行動することを自分の中で重要であると決め、自分から積極的に動くことができたので、その点でも自分の力に結びついた体験であった。